



温故知新



【参加者】
 関口(嘉)・関口(浩)・神尾・
 堀田・中田・田村・深澤・新
 井・今井・幸地・小林

平成二十五年二月四日
 野田工業(株)研究会の活動で、
 安全衛生協力会の幹事と共に
 川崎大師に安全祈願して参り
 ました。



今年一年の現場の安全と皆様と家族
 の方々のご安全とご健康を祈願して
 参りました。



【今号の主な内容】

- P① 安全祈願
- P② 情報漏洩対策
- P③ 情報取扱いルール
- P④ 連絡帳



発行

野田工業 株式会社
 東京都中央区銀座6-6-19
 花菱ビル5F
 TEL : 03-3572-1866
 FAX : 03-3575-0420

情報漏洩対策のお願い

インターネットが手軽に使えるようになった今日、情報は今まで以上に早く、広範囲へと伝えることが可能な時代となりました。しかしその反面、過失による情報事故の可能性が増大し、悪意のある人間から狙われる危険性も増えています。情報の漏洩は顧客や取引先に深刻な影響を与え、また社会的信用の失墜により会社自体の存亡にも関わるものです。

情報漏洩を未然に防ぐために、各個人が情報管理に対する意識を高めるとともに、情報の取り扱いルールの徹底をお願い致します。

ツイッターやフェイスブック使用時の注意依頼

ツイッターやフェイスブックなどソーシャルメディアの普及に伴い、インターネット上での情報発信による情報漏洩の懸念が高まっています。これらは社内ネットワークからは使用できませんが、個人的な使用時にも機密情報の自覚なしに仕事上の見聞や体験を書き込んだり、写真をネット上に公開したりすると、個人の枠を超えて、思いがけず会社に影響を及ぼす可能性があります。

実際に、他社においてはツイッターやフェイスブックなどにより情報が漏洩した事例が多発していますので、各自が高いセキュリティ意識を持ち、会社情報の流失に注意するよう、宜しくお願い致します。

※ツイッター：携帯電話やPCを使い、140字以内の文章や写真を投稿できるサービス。
インターネット経由で使用出来る。

※フェイスブック：友人や知人との交流を促進するインターネット上のコミュニティサイト。
文章や写真の情報交換が可能。

記

1.対応

- 業務、取引先に関わる情報は、インターネット上に発信、投稿をしない。
- 業務、取引先に関わる写真は、インターネット上に公開しない。
- インターネットを使用する場合は、各自がより慎重に、高いセキュリティ意識を持つ。
- 《日常的な情報管理の意識》

役員および社員は、業務上知り得た営業情報、人事情報など会社に関する情報を外部に漏らしてはなりません。特に友人や会社仲間等の会話で、しかも飲食店や車中といった公の場で、ある個人や会社の話をすることや、インターネット上のブログ、掲示板等に載せることは一部の情報が匿名であったとしても外部への情報漏洩を持っている可能性を持っています。

※注意(現場のルールの把握、周知)

近年、データセンターや研究所と秘密保持に大変厳しい作業所が多くなりました。
カメラ付携帯電話、デジタル機器等の持ち込みも規制されている現場がほとんどです。

情報の取り扱いルール

以下に情報の取り扱いについてのルールを記載しますので、皆様にはルールを順守していただきますようお願い致します。

① 私物のパソコンを使用しない、私物の外部記憶媒体を持ち込まない

② パソコンのセキュリティ対策を徹底する

1. 起動時にログインパスワードの入力が必要な設定にする
2. ウイルス対策ソフトを導入し、ウイルス定義データの更新を毎日行う
3. 更新プログラムを定期的、速やかに適用する
4. ファイル交換ソフトや出所不明、ライセンスがないソフトウェアは導入しない
5. 業務以外の目的で業務用パソコンを一切使用しない、個人のパソコンを業務に使用しない
6. 業務に関係の無いインターネットサイトへのアクセスはしない

③ 情報を許可なく持ち出さない

1. 社外への情報の持ち出しは必要最低限にとどめる
2. やむを得ず情報を持ち出す場合は、パスワード機能があるパソコンや外部記憶媒体(許可を得たもの)を使用する

④ ユーザーIDや権限を貸与しない・教えない

1. 社内で使用するパスワードのメモ書きをパソコンに貼るなど、他人が容易に分かるようにしない、教えない
2. 他の人に与えられたユーザーID及びパスワードを使用しない(なりすまし行為)

⑤ 情報を放置しない

1. パソコンを起動したまま離席しない(パスワード付スクリーンセーバーを設定する)
2. 図面や外部記憶媒体(USBメモリ、ハードディスク、CD、DVD等)は机上に放置して帰宅しない
3. 特に重要な情報が格納された電子媒体や書類は施錠可能な場所に保管する

⑥ インターネットに情報を公開しない

1. 工事状況や技術情報、顧客や会社の情報について、ブログ、掲示板、SNS(Twitter、Facebook等)への書き込み・写真の投稿を行わない

⑦ 業務上知り得た情報を公言・口外しない

1. 関係者以外には情報を開示しない
2. 協力会社やメーカーに提供する情報は、必要最小限の情報に限定する
3. 協力会社やメーカーは機密保持に関する誓約書を提出する
4. 工事状況や建物内部の写真を無断で撮影しない

⑧ 誤操作・誤送信に注意する

1. メール、FAXを送信する際には宛先や送付する情報に間違いがないか確認する
2. 社外メールの添付ファイルにはパスワードを設定し、添付ファイルとそれを開くためのパスワードは別のメールにする

⑨ 情報は確実に返却・廃棄する

1. 工事が完了したら客先・取引先との契約に従い、返却あるいは廃棄等する
2. 不要なパソコンはデータを読み取られないように専用ソフトで処理してから廃棄する
3. 不要な外部記憶媒体(USBメモリ、ハードディスク、CD、DVD等)は破砕処理する

連絡帳



インフルエンザの症状と予防

【症状】

風邪とインフルエンザは症状も原因も症状も原因も症状もはっきり異なります。

「風邪」は、のどの痛み、鼻水、咳(せき)などの症状を伴う呼吸器の急性炎症です。発熱、頭痛、食欲不振などが起こることもあります。健康な人でも年に数回程度かかるといわれています。

「インフルエンザ」は、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。普通の風邪よりも急激に発症し、症状が重いのが特徴。インフルエンザに感染すると1~5日の潜伏期間の後、38℃以上の高熱や筋肉痛などの全身症状が現れます。健康な人であれば、その症状が3~7日間続いた後、治癒に向かいます。気管支炎や肺炎を併発しやすく、脳炎や心不全になる場合もあります。

インフルエンザやウイルスには強力な感染力があり、いったん流行すると、年齢や性別を問わず、多くの人に短期間で感染が広がります。日本では毎年11月~4月に流行が見られます。2009年春、いわゆる「新型インフルエンザ」が流行したことは、まだ記憶に新しいでしょう。

【予防】

インフルエンザの予防に効果が期待できるのがワクチンの接種です。流行シーズンを迎える前の11月ごろの接種をおすすめします。

インフルエンザワクチンは、13歳未満は原則として、2~4週間の間隔をおいて2回接種します。13歳~64歳は1回または2回かは医師と相談して決めて下さい。65歳以上の高齢者や過去にインフルエンザにかかったことがある人なら、1回の予防接種でも十分な免疫力が得られるといわれています。効果が現われのはおよそ2週間後からで、その後約5カ月間持続するといわれています。

費用は、自己負担で、1回/約3000~5000円程度です。

65歳未満の健常者では70~90%の発病予防効果があり、合併症の併発や高齢者の死亡を減らす効果があることが知られています。

行政もワクチンの接種を推奨しています。65歳以上の高齢者とともに、60~64歳で心臓や呼吸器系、肝臓などの基礎疾患を持つ人をワクチン定期接種の対象と、法令により定めています。市町村による費用補助の対象になっている場合もあります。

詳しくはお近くの保健所または医療機関にお問い合わせください。

今後、まだまだ流行は継続されると思われますので、皆さんも予防対策などをして気をつけて下さい。

うがいしよう



職長会のお知らせ

★日時 平成25年3月21日

★時間 18時00分~

(30分前から会場に入れますので早めにお越し下さい。)

★場所 ニュー新橋ビル 地下2階 ニュー新橋ホール